

★合格体験発表会(2016.2.17)

2月17日(水)ロングホームルームの時間、1、2年生全員が体育館のアリーナに集合し、3年生10名の合格体験談を聴きました。1年生も2年生も、4月からは新2・3年生です。そのことも意識にあってのことだと思われませんが、進路決定・進路実現につながる3年生の話を、皆真剣に聴いていました。

3年生10名の生徒たちの進路は、就職(四国銀行/ダイオールサポート) 国公立大学への進学(島根大学・生物資源科学部/高知大学・人文社会学部/高知県立大学・社会福祉学部/健康栄養学部/高知工科大学・情報学群/経済マネジメント学群) 私立大学への進学(美作大学・生活科学部) 短期大学への進学(高知学園短大・幼児保育学科)と、それぞれでしたが、自分たちの経験や悩みや解決策、心構えなどを具体的に述べてくれました。



★吹奏楽部定期演奏会(2016.2.14)

2月14日(日)「のいちふれあいセンター」にて山田高校吹奏楽部・定期演奏会が催されました。山田高校の生徒・教職員をはじめ、地域の方々も沢山来てくださいました。部員は現在14名と少ないのですが、演奏にOBの方々に加わってくださったり、ボランティアーズや生徒会のメンバーがお手伝をしたり、有志の歌とダンスが披露されたり・・・と、始終、山田高校ならではのアットホームな雰囲気で行われました。

前半は重厚なクラシック曲が演奏されましたが、休憩をはさみ、後半はポップで楽しい曲目が並びました。休憩の間にお客さんには蛍光ペンライトが配られ、暗がりの中でそれらの光が揺れる様はコンサート会場のような感じでした。バレンタインデー当日ということで、お客さん全員に一粒チョコレートも配られ、こういった演出の数々に、小さいお子さんたちは笑顔になっていました。



★YYスピリッツ講演(2016.1.28)

1月28日(木)5・6限目の時間、「私の歩んだ道 一見えないから見えたもの」という演題で、竹内昌彦さんにご講演いただきました。竹内さんはもと盲学校の教諭をされていて、平成17年のご退職後は、命の大切さを伝えるためのご講演活動や執筆活動をはじめとして、モンゴル等外国に盲学校を設立するなど、世界に目を向けた貢献活動にも携わっていらっしゃいます。はじめに、「盲目であるとはどういうことか、どのような生活を送って

いるのか、生徒の皆さんは想像がつかないだろうから」と、日常お使いになっている道具の紹介などをユニークにしてくださいました。そして、「公道や交差点などで、白い杖を持った私のような人を見かけたら、ぜひ手助けしてもらえるとありがたい」と、具体的な介助の方法を教えてくださいました。竹内さんがお住まいの岡山県は「点字ブロック」の発祥の地であるそうで、記念石碑や饅頭・せんべい・『幸せの黄色い道』というCDの発売など、さまざまな活動に竹内さんも関わられているそうです。そこで、「点字ブロックの上には物を置かないでほしい」ということもおっしゃっていました

「見えないから、やりたいことがあってもどうせできない」というふて腐れた気持ちになったこともあったそうです。しかし、ひとつのきっかけで気持ちや意欲に大きな変化が起こり、それが行動につながって道が拓けたのだとおっしゃっていました。竹内さんは、いじめを苦にした中高生の自殺の報道を耳にされる度に、痛ましい思いと同時に、「なぜ死ななければならぬか」という腹立たしい思いも抱かれるそうです。

皆、「自分一人の命」と思っているかもしれないが、そこには脈々と受け継がれてきた流れがあり、自分には、「命のバトンを受け取った重みと、次へと繋ぐ責任」があるのだと思わなければならない、そう思っしてほしい。苦しみの最中（さなか）にいるときは、「これが一生続く」と思っしまいがちだが、そんなことは決してない、「やっぱり生きていてよかった」と思える時が必ず訪れる。それまで、ねばる。しのぐ。時には逃げる。待つ。何をしてもいいから、生きてほしい。竹内さんのこのメッセージは、講演を聴いた生徒、教職員、保護者の方々、すべての人の胸に響いたのではないかと思います。



★3学期始業式が始まりました(2016.1.8)

1月8日、全校一斉大掃除の後、平成27年度3学期始業式が行われました。久しぶりの登校ですが、生徒たちは皆元気そうな表情で整列し、校長先生のお話を拝聴しました。

始業式後伝達表彰が行われました。生徒会の「フードドライブキャンペーン」の活動が評価され、香美市社会福祉協議会より感謝状が贈られました。生徒会の2年生岡田さんが代表で賞状を受け取り、コメントを述べましたが、この賞状は、活動を支えてくださった山田高校と関係者の皆さん全員に贈られたものと言えます。そして第19回高知県高等学校新聞コンクール「学校新聞部門」奨励賞が、新聞部の皆さんに贈られました。おめでとうございます。

★ホームマッチ冬の陣(2015.12.11)

台風のような荒れた気候から一夜明けた12月11日、山田高校恒例「ホームマッチ〈冬の陣〉」が行われました。男女混合ソフトボール・男女別バレーボール・ジェンガ3種目で、各ホーム白熱した戦いを展開していました。決勝以外の試合でも、ホームマッチ史上に残るような名勝負が見られ、皆の記憶にしっかりと刻み込まれたのではないかと思います。総合優勝は1-1。2位は2-2、3位は2-5でした。また、ホームマッチ閉会式のあと、12月20日に京都都大路で行われる「第27回全国高校駅伝競争大会女子の部」に出場する選手たちの壮行式が行われました。キャプテンの、3年生田中さんを始めとする8人の選手が紹介され、田中さんから「皆さんの応援に応えられるような力走をしてきたいと思います」という力強い挨拶がありました。皆さんの声援が選手たちの力の源になるはずです。12月20日、TV放送もありますので、応援をよろしくお願いします。





★ラモス瑠偉さん講演(2015.12.7)

2学期期末考査最終日、午後からラモス瑠偉さんをお招きし、ご講演いただきました。保護者の方や近隣の小学生などからも参加がありました。生徒の心に灯をともし活動”YYスピリッツの一環で行われた今回の講演ですが、サッカーに興味がある・なし関係なく、どの生徒の心にも灯がともったように感じました。20歳という若さでブラジルから単身来日され、日本サッカー界を常に第一線で引っ張って来られ、日本でその名を知らない人はほとんどいないと思われるほど著名な方ですが、フランクに生徒の目線でお話しくださり、講演の40分間、生徒たちは真剣な眼差しをステージに向けていました。講演後の質問タイムでは、質問者にサイン色紙がプレゼントされるということで、質問が殺到し、大いに盛り上がりました。質問タイムを含めて約80分、あっという間に過ぎてしまいました。

- 良いことも悪いことも、自分の行いはすべて自分に返ってくる。そのことを皆わすれている。
 - 人を尊敬し、人に感謝する。恩返しするという気持ち、親孝行は大切。
 - その人に合った十字架(壁)がそれぞれ用意されている。超えられないはずはない。でも超えられなかったら周りに助けを求めればいい。
 - ぶれない。甘い話は聞かない。
- などなど、印象に残る言葉に溢れた講演でした。



★動物解剖体験 (2015.11.23)

11月23日9:30～化学実験室において、本校で3回目となる「動物解剖体験事業」が行われました。NPO 四国自然史科学研究センターのご協力のもと、参加者20名が1日真剣に取り組みました。今年が高知工科大学から希望の学生も2名来て、一緒に活動をしました。

動物はタヌキ2体、ハクビシン1体、テン1体（いずれも事故死した野生動物）で、身体測定と記録、外部寄生虫調査、筋肉採取、開腹・除肉作業が行われました。毛を含まない部分の体長、胴まわり、尾の長さなど、かなり正確に測定、記録しました。また、身の回りに付いている寄生虫も採取し、野生動物は意外とたくさんの寄生虫をくっつけて生活していることがわかりました。「解剖とは気持ち悪いもの」という先入観があった生徒は多かったようですが、実際に参加してみると「驚き」や「発見」の連続ということが多そうです。通常の授業や日常生活ではとても体験できない貴重な時間を過ごすことができました。参加生徒は主に医療・看護系希望者で、実習後のアンケートでは、みな興味をもって意欲的に取り組み、たいへん充実した有意義な1日となりました。





☆以下生徒の感想より☆

- 開腹した時に臭いがプーンと広がってちょっと顔をそむけるくらい生臭かったです。でも開腹したことでタヌキの胃が小さいとか死因が分かったりとか、いろいろ体験できてよかった。
- 思ったよりも臭くなくて作業がしやすかった。
- 心臓の位置とかも確認できて半分に割ってみたり、触ってみて堅かったり、柔らかかったりと体験できた。同じ哺乳類なので自分たちの体も同じなんだと思ったらかなり興味深く観察できた。
- 腎臓は本当にソラマメの形をしており、気管はプラスチックみたいいでこぼこがあってどれもこれも見なきゃわからないなと思いました。本当に貴重な体験ができました。
- お腹を開いたり筋肉や皮をはがすときに「うちの犬に似ている・・・」と思い、なかなかメスがすすみませんでした。
- タヌキを触ったこともなかったので、解剖はとても緊張しました。腸はとても長いと聞いていて、本当なのか？と思っていたけど、解剖したら実際長くて、人間もこんな風になって

いるのかと思いました。

●死体なのであまり血がでなくてよかったです。メスを使っただけの作業は初めてだったのでドキドキしたけど、先生方が易しく教えてくれて作業がスムーズに進みました。

★月の観測会 (2015.10.23)

山田高校では、小学生の科学教室「やまこう行こうサイエンス」事業の一環として『月の観測会』を行いました。天候にも恵まれ、山田高校の校舎の壁に巨大な月の映像を映し出し、幻想的な雰囲気の中、高校生が進行をしながら月の説明や太陽系に関するクイズをして、参加してくれた近隣の小学生と共に楽しい1時間を過ごしました。はっきりと映し出されたクレーターや「海」と呼ばれる部分ができただけの理由、その影が何に見えるかなど、とても興味深い内容の話や、太陽の直径が地球の100倍ほどもあること、太陽までの距離は月までの400倍ほどあって、ものすごく遠いことなど、初めて聞く驚きの事実もたくさんあり、宇宙に関する不思議は深まるばかりでした。参加してくれた小学生、ありがとうございました！

— 記 —

1 目的 月の観測を通して、高校生をTA（ティーチングアシスタント）として小学生に対する科学教室を実施する。小学生に対する昨今の「理数ばなれ」を払拭する効果や、TAとして従事する高校生のスキルアップを目的とする。

2 対象児童 山田高校近隣の小学生

3 日時 平成27年10月23日（金） 17:30～18:30

4 会場 高知県立山田高等学校 中庭（体育館北側）駐車場

5 日程 17:10～17:30 受付（体育館前）

17:30～18:00 月についての解説

18:00～18:30 月の観測（天体望遠鏡像をプロジェクターで投影）

18:30 解散



★清笑祭H 2 7 (2015.10.1-3)

「そうだ！山田家へ行こう！！」のテーマのもと、山田高校文化祭(清笑祭)がはじまりました。前日祭の10月1日(木)午前、全クラスによる「仮装コンテスト」が行われました。ジブリ、昭和のアニメ、スーパーマリオブラザーズ、ディズニープリンセス、おにゃんこクラ

ブ、ハロウィン、シンデレラなど様々なテーマをクラスごとに設定し、キャラクターに扮した生徒たちが会場を沸かせました。予算と相談しながら、手作りをしたり、借りられる先がないか奔走したりと、それぞれに幾多の困難を乗り越えて完成させた仮装でしたので、生徒たちの表情は達成感や爽快感に溢れていました。

午後は「合唱コンクール」と「ジャアバーボンズ」のライブがありました。全クラスが参加する合唱コンクールは、山高文化祭の目玉のひとつとされています。クラスの団結力が試され、固まる大きな機会でもあります。そして「ジャアバーボンズ」のライブでは、ステージ前に多くの生徒が集まり、立ち上がって拳を振り上げて盛り上がりました。この日の放課後は、まだまだ興奮冷めやらぬ様子の生徒と、体力を使い果たしてぐったりとした生徒とが見受けられました。10月2日(金)は校内発表が行われました。オープニングセレモニーで披露された「コマ撮り動画」は、生徒会と清笑祭実行委員とにより作成されました。総計4,000枚超という気の遠くなるような数の写真をつなぎ合わせて作成された動画は、夏休みもシルバーウィーク連休も返上で作られました。続いて全クラスの「CM大賞」が放映されました。これは、事前に撮影・編集された、各クラス30秒のCMです。

そして舞台発表では、「部活動」による朗読や吹奏楽演奏・演劇などが行われ、続いて「有志」によるダンス、弾き語り、バンド演奏などが行われました。午後は模擬店・展示・お化け屋敷などさまざまな催しに、各クラスとも精一杯取り組んでいました。文化祭が隔年で行われる山田高校では、1・2年生にとっては今回が初めてであり、3年生にとっては2回目ですが、どの学年からも「楽しい!」「時間が足りない」という声上がり、生き生きと参加している様子が伺えました。

最終日の10月3日(土)は一般公開日として、校外に向けて開放されました。天候に恵まれたおかげもあり、地域の方々がとてもたくさんお越しくださいました。前日の校内発表日にはあまり客足が伸びなかったという「縁日」のクラスでも、この日は小学生以下の子どもさんたちで大賑わいになり、それにやさしく対応する生徒たちの姿が見られました。また、音楽室では読み聞かせボランティアグループも読み聞かせの活動を行っていましたので、大勢の子どもさんたちに来ていただけたことは、生徒たちにとってもたいへんプラスになりました。

★小椋久美子さん講演 (2015.8.26)

Y.Y.スピリッツ (生徒の意欲を高める講演会など) の一環で、元バドミントン日本代表選手の小椋久美子さんを山田高校にお招きすることができました。国内外で活躍された経験をもとに、バドミントン競技への思いや苦労したこと、また、自分の人生にどのように影響したのかなどについて熱く語ってくださり、その後はエキシビジョンマッチも実演してくださいました。目の前で展開される超有名人のご講演やプレーに山田高校生は目が釘付け

になり、あっという間の2時間でした。

校長先生と共に小椋久美子さんが入場してこられると、「かわいいー」「背がたかーい」「きれい」と、高校生らしい思い思いの第一印象が思わず口に出ていました。ステージで濱田久美子校長先生からご紹介がありましたが、みんなその内容も上の空で、「さっきまで校長室で、ダブル久美子でどんな話をしていたんだろう・・・」などと考えていたのではないかと思います。

講演といってもインタビュー形式で行われたのですが、生徒会2年生の別役さんとバドミントン部キャプテンの岩城君から、「オリンピックは他の大会とは何か違いますか?」とか、「“オグシオ”は“シオオグ”と呼ばれる可能性はなかったのですか?」など多くの質問が出されました。小椋さんは「さすがスポーツ選手」という感じで、スパスパとキレのいい回答をなさっていました。講演の後の実演では、21ポイントのダブルスの試合が2セットあり、1セット目は山田高校バドミントン部2年生の滝口君・木村君ペアと、2セット目は少年女子国体メンバーの中央高校川上さん、南高校松島さんペアと対戦し、小椋さんのペアは中央高校の上田さんでした。反応の速さ、洗練された動き、サーブの集中力、レシーブの正確さなど、どれをとっても超一流!特にバドミントン関係者は、その素晴らしいプレーに目がテンになっていました。講演が終了し、生徒会2年の宮地さんからお礼の言葉、バドミントン部滝口君から花束贈呈があり、拍手喝采の中で講演会は終了しました。

今回のご講演には高知県バドミントン協会のご協力もあり、素晴らしい時間を過ごせたことをお礼申し上げます。また、県内ジュニアクラブの選手たち、地元中学校の選手たちもたくさん来て下さり、ありがとうございました!





★2学期始業式 (2015.8.24)

8月24日(月)、山田高校では県内でいち早く2学期を迎えました。大掃除に続いて始業式が行われ、その後は伝達表彰と新しいALTの先生の紹介がありました。吹奏楽部などの部活動の表彰に並び、商業科の「商い甲子園優勝」も表彰を受けました。そして、新しく

イギリスから来られたALTのレベッカ先生の挨拶に大きな拍手が送られていました。

★商い甲子園 (2015.8.8)

夏休み中の8月8日(土)、「第8回商い甲子園」が、安芸市本町商店街を会場に開催されました。14校19チームの参加があった中、山田高校商業科『YAMADAジンジャー☆』は見事、「最優秀・岩崎弥太郎賞を受賞し、並んで「地域連携賞」もいただきました。

すでに知名度のある「商姜なかよし饅頭」に加え、「商姜チョコレート」も新たに加わったのですが、「商品自体の質・量・価格」「接客」「独自性」「共感」という5つの審査項目のどれもに高い評価をいただくことができました。

★近隣保育園への読み聞かせボランティア(2015.8.7)

8/7(金)夏休みの期間を利用し、読み聞かせボランティア活動の一環で香美市あけぼの保育園へ行きました。2年生2名・3年生3名、男女合わせて計5名が参加しました。絵本・紙芝居・手遊びのあとは、年少クラスの子どもたちとの交流を楽しみました。







★香美市コラボ理科実験教室「バイキンマンの正体は!？」(2015.7.31/8.3)

山田高校の地域とのコラボ活動の一環として、今年度本事業を開催しました。香美市の全小学校から参加があり、合計20名、山田高校のTA4名、高知工科大学のTA8名で2日間の日程で行われました。第1回は「バイキンの話」「寒天培地の話」「寒天培地への菌の取

り方」「菌をとる」の内容で、3日後に行われた第2回では「結果分析の仕方」「結果の分析」「結果の発表」「いろいろな菌の説明」「菌の観察」を行いました。

1回目は山田高校の生物室にて、無菌操作や寒天培地などの基本的な説明と菌を採取する活動をしました。菌は本当に存在するのか、いるとしたらどのようなものなのか。大いに疑問を抱きながら、寒天培地に水道水や床のほこり、水槽の水、中庭の土、葉っぱなどをくっつけて、菌を採取します。

2回目は高知工科大学にて。寒天培地について菌がどのように増えているのかをわくわくしながら観察、分析し、それぞれの考えを参加者全員の前で発表しました。「○○だから○○だと思います」という筋道を立てた意見が述べられ、参加者からも質問が多数出て活発な議論がなされました。その後は増えた菌を顕微鏡で観察しました。いよいよバイキンマンの正体が明らかとなり、丸いものや細長いものなど、様々な形の菌たちを興味深そうに観察しました。







★やまこう行こうサイエンス(2015.7.26)

29名の小・中学生を迎えて、「やまこう行こうサイエンス」が実施されました。今年は「みてみよう！顕微鏡の世界！」「なんでも凍る不思議な液体！？」「どうして果物で電気がつくんだらう？」「シャボン玉を使って科学実験を体験！」の4本立てで、アシスタントとして5名の山田高校生、9名の高知工科大生がお手伝いしてくれました。参加者たちは液体窒素が起こす不思議な現象に驚いたり、必死に考えて割れにくいシャボン玉をつくったりと一度にたくさんの科学実験を体験することができました。感想にも「あまりにおもしろかったので顕微鏡がほしくなった」「理科がもっとすきになった」「次回もまた来たい」などの意見が多くみられました。









★1学期終業式(2015.7.21)

7月21日(火)1学期の終業式が行われました。長期の休みに入りますが、生徒の皆さんは体調に気を付けて、勉強にもしっかりと取り組みながら、ボランティアや体験活動に積極的に参加するなど有意義に過ごしましょう。終業式後には伝達表彰が行われました。部活動では、男子バドミントン部と女子陸上部の部員たちが表彰されました。また、ALTのミシェル先生とのお別れ会も行われました。生徒会や英語部から花束や寄せ書きなどが贈られた後、ミシェル先生よりお別れのメッセージがありました。



★小原良公さん講演(2015.7.14)

生徒皆さんの心を動かす活動（YYスピリッツ）の第2回目が行われ、「追い求める夢、支える夢」と題して小原良公さん（bjリーグ ライジング福岡）に講演していただきました。たった1度の人生、夢を持ってそれを追いかけてながら生きることが大切、と自身の競技生活

と照らし合わせて熱く語ってくれました。



★自転車盗難被害防止モデル校指定書交付式（2015.7.14）

香美警察署長より、自転車盗難被害防止モデル校指定書が交付され、生徒代表として生徒会長が自転車盗難防止の意識を高めることを決意表明しました。



★“届けよう、服のチカラ”プロジェクト講演 (2015.6.16)

6月16日(火)、1年生を対象に、ユニクロの尾崎さん(高知エリアマネージャー)をはじめとする5名に来ていただき、講演を行っていただきました。服のリサイクルという身近なところから社会貢献ができるということを学ぶことが、今回できました。これから地域へ

の呼びかけなどを行い、リサイクル活動に参加していきたいと考えています。



★ラーゴ短期留学生歓迎会(2015.6.15)

6月15日より、アメリカのラーゴ高校から6人の生徒さんが短期留学で来校しています。ラーゴ高校とは1992年(平成4年)より姉妹校関係を結んでおり、昨年は本校の生徒が

ラーゴに短期留学していました。15日朝は本校体育館で歓迎セレモニーが行われ、校長、生徒会長による歓迎のスピーチの後、ラーゴ高校生による自己紹介が行われました。慣れない日本語での自己紹介に、多くの生徒たちが熱心に耳を傾ける姿が印象的でした。セレモニーのアトラクションとして1年生の音楽選択生徒による『手紙～拝啓十五の君へ～』の合唱が披露されました。ラーゴ高校生や本校生徒から盛大な拍手が贈られました。15日(月)から23日(火)まで本校生徒や香美市の小・中学生と交流をします。







★ホームマッチ夏の陣(2015.6.5)

中間考査の翌日、ホームマッチ夏の陣が行われました。あいにくの天候で、ソフトボールの部が卓球に変更になりましたが、そのほか男女バレーボールの部、ジェンガの部とどの競技も白熱しました。





★講演会がありました。(2015.6.4)

山田高校の生徒の能力向上の取り組み (Y. Y. プロジェクト) の1つである生徒の心を動かす活動 (Y. Y. スピリッツ) が行われ、「新しいアタマの使い方」と題して梅原真さん (梅原デザイン事務所代表) に講演していただきました。大方町砂浜美術館のプロデュース

などの話から、物事をポジティブシンキングしてみる大切だというメッセージをいただきました。



★県体壮行式(2015.5.22)

翌日より始まる県体に向けて、壮行式が行われました。校長先生からの激励の言葉「チャレンジ精神で勝ちにこだわれ！」を胸に、選手団代表の女子バスケットボール部主将の日浦さんが悔いのない試合をしていくことを力強く宣言し、熱戦を誓いました。



★人権講演 (2015.5.20)

5月20日(水)、人権教育講演会が行なわれ、「東日本大震災から学ぶ」と題して新井康子さん(「えんじょいんと香美」代表)に講演していただきました。災害時には、自分で考え行動することが大切、そのためには普段からしっかり学校でものの見方や考え方、知識を学ぶことが大切という言葉が印象に残りました。



★P T A総会(2015.5.16)

5月16日(土)、平成27年度P T A総会が行われました。今年度、保護者の方々には、昨年度よりも30名ほども多くご参加いただきました。午前中は総会と進路講演(進学希望・就職希望とに分かれて行いました)・食堂無料試食・午後はホーム懇談と面談とが行われました。総会后、吹奏楽部によるハンドベル演奏、商業科生徒によるプレゼンテーションなども行われ、日頃の活動の成果の一端をお見せすることもできました。







★生徒総会(2015.5.14)

平成 26 年度決算報告と活動報告、並びに平成 27 年度予算案と活動計画について承認されました。また、学校への要望・意見が各ホームから出され、生徒会が学校に対して1年かけて交渉し、結果を年度末に報告します。



★春の遠足(2015.5.1)

山田高校春の恒例行事「春季遠足」が晴天の下行われました。全学年が徒歩で鏡野公園へ行き、生徒会主催のイベントを行った後、また徒歩で帰校します。今年の遠足も、趣向を凝らしたホーム対抗イベントが大いに盛り上がり、ホーム・学年・学校全体がひとつにまとま

った瞬間がありました。移動中、近隣の方々にご迷惑をおかけしました。ご理解をいただきありがとうございました。この場をお借りして感謝申し上げます。





★中庭コンサート(2015.4.23)

4月23日昼休み、吹奏楽部が中庭でミニコンサートを開催しました。新入部員も参加し、名探偵コナンのテーマなど数曲を演奏、聴きに来ていた多くの生徒や先生方の耳を楽しませました。5月にも実施の予定です。



★ラーゴ高校短期留学報告会(2015.4.23)

昨年10月25日から2週間、山田高校の2年生5名・1年生2名(当時)の計7名が、姉妹校提携を行っているカリフォルニア州ラーゴ高校に短期留学に行きました。現地では熱烈的な歓迎を受けたこと、ホストファミリーにお世話になり、仲良くなったこと、日本語の奥

深さや日本食の素晴らしさを感じたこと、学校生活や基本生活でさまざまな違いを感じ、当たり前前に思っていることが当たり前ではないことに気づいたこと・・・4月23日の午後行われた報告会で、発表生徒たちは見たこと感じたことを、わかりやすくまとめて報告を行ってくれました。「広い世界をこの目で見、感じて、視野を広げたい」という目標を抱いて現地へ行き、「コミュニケーションの難しさ」の壁にぶつかり、「思いが伝わったときの感動」を味わったという言葉がありました。

今年の6月、今度はラーゴからの生徒を山田高校で受け入れます。全校を挙げて歓迎することで、昨年受け入れてもらったことへの感謝を表したいと考えています。





★対面式・部活動紹介(生徒会行事)(2015.4.8/9)

4月8日、新年度の対面式が行われ、新入生と2・3年生とが顔合わせをしました。1年間の行事紹介あり、山田高校恒例の寸劇ありで、生徒会を始めとするメンバーたちの力のこもった催しに、場が笑いに包まれ、大いに盛り上がりました。





4月9日、午前はオリエンテーションと授業とがあり、午後に全部活動による部活動紹介が行われました。ここが山田高校のいいところなのですが、2・3年生も交じって、全学年でこの部活動紹介を総見します。部活動に入っている生徒も入っていない生徒も、クラスメートの、クラスで見せるのとは違った顔を発見できるいい機会になっていると思われます。

1年生は、体育館アリーナで行われた全体の紹介の後、興味のある部へ「ミニ体験」に行きました。来週には部活動登録がありますので、入りたい部をしっかりと考えておいてもらいたいと思います。









★入学式が行われました(2015.4.7)

春のこの佳き日、平成 27 年度入学式が行われました。午前、在校生の始業式があり、入学式の会場設営等も行いました。そして午後、入学式が挙行され、全日制の課程普通科 110 名商業科 29 名、計 139 名の新入生が山田高校への入学を許可されました。

新入生の皆さん、保護者の皆さま、ご入学おめでとうございます。

